

これでいいのでしょうか？

国会議員の定数削減

本当に、国民の願いが政治に反映されるのでしょうか

本当に、財政再建につながるのでしょうか

菅首相は、衆議院で国会議員を80、参議院で40減らすとして、8月中に民主党内の意見を取りまとめ、12月までには与野党で合意を図ることを、枝野幹事長らに指示しました。

国会議員の定数削減で、国民の願いが政治に反映されるのでしょうか？、財政削減につながるのでしょうか？一緒に考えませんか！

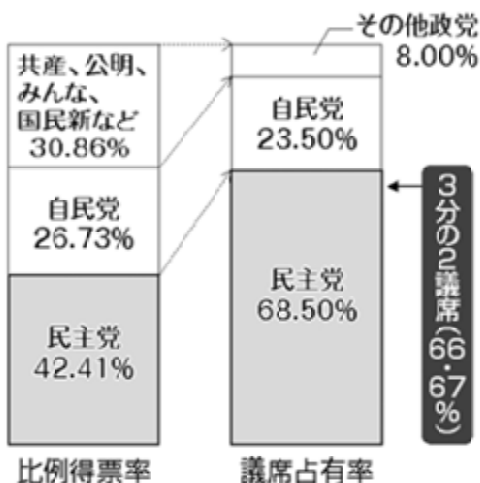


民主
少数政党

42%の得票で68%の議席

30.8%の得票で8%の議席

比例定数80削減で議席の
占有率は…
(2009年総選挙結果で試算)



いまの衆院の総定数は480議席。300議席を定数1の小選挙区でえらび、残りの180議席は全国を11に分けた比例ブロックで選びます。

民主党案はこの比例部分を80削減し、定数100にしようというもの。

《各ブロックはどうなる》

四国は6⇒3、北海道8⇒4、
中国11⇒6、北陸信越で11⇒6
など大幅削減に

民意を正確に議席に反映する比例代表制の長所が大きく損なわれ、大政党に有利な仕組みに変質。総定数に対する小選挙区の比重は62.5%から75%に一举に高まり、少数政党が締め出されます。

一党独裁へ

結果、民主党単独で3分の2以上の議席を占め、参議院で法案が否決されても、衆議院で民主単独で再議決が行えることになります。

国会議員の定数削減で削られるのは国民の声です
政党助成金320億円こそ削減すべき

財政危機だから議員の数を削れ！の声もあります。財政だけを考えると、80人削減で60億円程度の削減効果が確かにあります。しかし、財政再建のためには、320億円もの政党助成金こそ削減・廃止すべきです。

320億円を削減すれば、国会議員450人を削減したことになります。国民の願いが正しく反映される制度こそ、必要ではないでしょうか。



あなたも一緒に 歴史の次のページ開こう

被爆
65年

核兵器のない世界へ行動を



今日、8月9日は、長崎に原爆が投下された日です。広島、長崎に原爆が投下されてから65年。その年だけで広島14万人、長崎7万人もの命が奪われました。さらに放射能の後障害で、原爆は今も多くの被爆者の命を奪い続けています。ヒロシマ・ナガサキの被害は決して過去のものではありません。

いま、被爆者の願いと行動、日本と世界の核兵器廃絶運動が大きく前進し、世界は核兵器廃絶へ大きく動こうとしています。あなたも一緒に歴史の次のページひらきましょう。

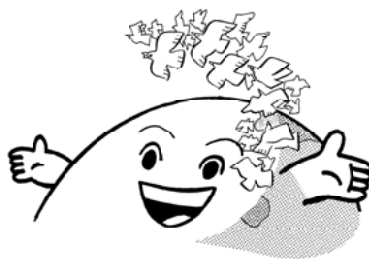
核廃絶の流れは止まらない！

ことし5月、ニューヨークで開かれた核不拡散条約（NPT）再検討会議では、核保有5カ国を含め、一致して「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決め、核保有国に「自国の核軍備の完全廃絶」の「明確な約束」を実行させることを確認しました。

NPT再検討会議議長が、日本で集められた700万人分の「核兵器のない世界を」国際署名を受理し、会議の冒頭で、全ての参加国（190カ国）に、市民社会の声に応えるよう呼びかけました。

潘基文（パンギムン）国連事務総長も、日本の運動に熱いメッセージを寄せ、原水爆禁止世界大会にも「核廃絶の努力 称賛」のメッセージを寄せました。

草の根の行動が世界を動かしているのです。



この動きさらに大きく力強く！

核兵器廃絶を求める世界の世論の高まりと、日本の運動への期待を反映して、6日の広島市の平和式典には潘基文国連事務総長が出席しました。（事務総長の参加ははじめて）昨年を10カ国上回る69カ国の代表が出席。これまで出席しなかった米国は、ルース駐米大使が参加しました。

広島と長崎で2日から9日まで開催された原水爆禁止世界大会では、5月のNPT再検討会議をうけて「核兵器のない世界」の実現にむけて運動の方向が話し合われました。核保有国に廃絶を目標とした交渉のテーブルに着かせる国際世論を高める運動が議論されました。あなたも一緒に！

